

エキスポパート新聞

第4号
発行所
認定NS連絡会
広報担当



慢性心不全認定看護師にできること！

Q、慢性心不全とは？

A、「心不全」とは心臓の働きが悪くなり、機能が低下して、体に十分な血液を送り出せなくなった状態のことです。息切れやむくみといった症状がおきます。それが、だんだんと悪くなり、生命を縮める病気を慢性心不全と言います。

我が国の死亡原因の第2位は「心疾患（心臓病）」です。心疾患の中でも「心不全」による5年生存率は約50%と報告される怖い病気です。

Q、慢性心不全認定看護師にどんな相談ができるの？

A、心不全に関する事なら何でも相談できます。

診断・治療方法・これからの生活・ご家族のこと・体や心の様々ならさについて相談ができます。今後のことについて何かお困りのことがありましたらお声をかけてください。また、患者さまを支えている、ご家族からのご相談も受けております。

心不全治療を受けられるあなたの生活を支えます。

Q、いつから相談できるの？

A、心不全症候のない時期から相談できます。また、多職種（医師・理学療法士・薬剤師・管理栄養士・医療相談員・臨床心理士）チームによる観察・指導が受けられるように窓口にもなります。



慢性心不全認定看護師・鈴木麻美



心臓リハビリテーション

心臓リハビリテーションとは、自分の病気のことを知ることから始まり、患者さまごとに合わせた運動指導、安全管理、危険因子管理、心のケアなどを総合的に行うものです。

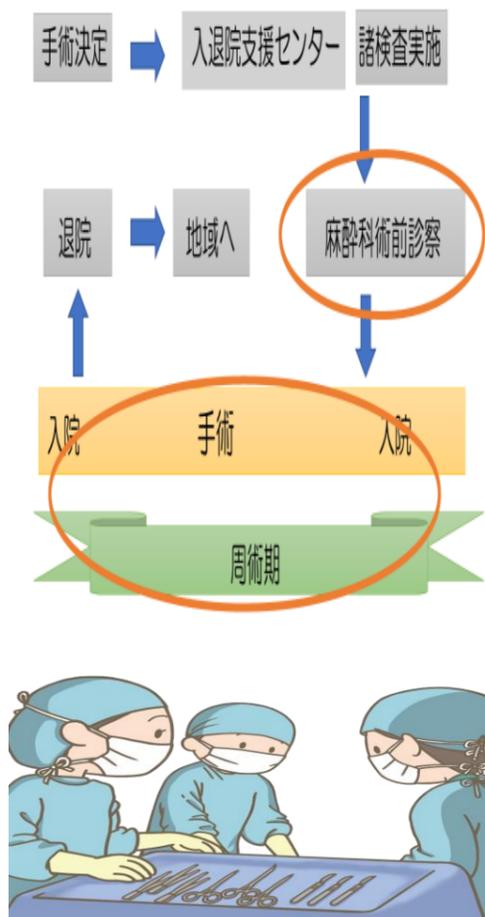
医師、理学療法士、看護師、薬剤師、臨床心理士など多くの専門医療職が包括的に関わって、患者さま一人ひとりの状態に応じたりハビリプログラムを提案、実施しています。

手術看護認定看護師にできること！

手術看護は術前のケア、心理サポートに始まり、手術侵襲の軽減、医療安全、感染予防、合併症予防、術後管理など多岐にわたります。

左記のフローチャートの中の橙色の囲みの中で、私達手術室看護師が看護ケアを提供しております。

手術を受ける患者さんの流れ



手術看護認定看護師として、日本全国の各種学会や関東甲信越地区、山梨県全体でネットワークを持ち、情報交換や学びを得て日々の看護に反映させる努力をしております。まずは基礎として、手術室内での教育、病棟や関連部署からの相談や教育、山梨県内での手術看護の学習機会の提供なども行っております。

手術は、人生のなかでも最大のイベントです。実際には、全身麻酔がかかってしまったため、意識がない中で手術中を過ごしていただくことが大半です。

だからこそ患者さまの代弁者、擁護者として手術という大切な場面で、患者さまのそばで支えていくことが手術室看護師の役割だと考えています。

手術決定から入院までの短期間の中、一度にたくさんの方が提供されて、混乱し、不安が強くなることもあるかと思えます。

身体と心の準備を十分に整えて手術に臨んで

いただくためにも、術前からほんの少しでも

不安なところや分からなくなるところを教えてください。

遠慮なくお尋ねください。

安心・安全な手術が提供できますように共に寄り添って

いただきます。



手術看護認定看護師 雨宮美咲